

D02

乗鞍岳におけるミュオン強度の精密観測

採択額：30千円

旅費：16千円

加藤 千尋(代表者) 信州大学

共同研究者

宗像一起・林 優希・増田吉起・松本瑞希・小山守一・宮下直子 信州大学

2021-2022年の状況

機器交換



悪天候のため停止

→遠隔操作で観測再開

2022年10月9日まで:観測継続

天候不順により観測停止

スイッチへのアクセス障害のため復旧できず

2023年8月:上山・リモートスイッチ交換・観測再開

2023年10月:悪天により発電停止=観測停止

同 月 :遠隔操作により観測再開

2023年12月1日:天候悪化により発電停止=観測停止

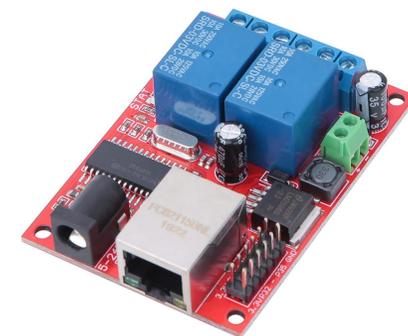


旧:RBIO



旧:RJ45

・認証エラー



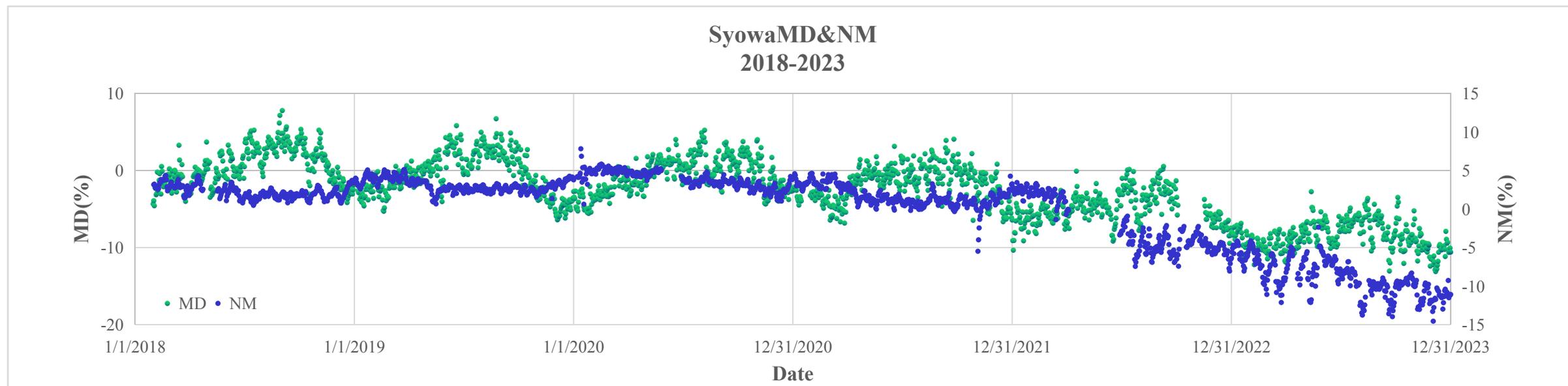
SR-201

- ・認識できる
- ・動作確認済み

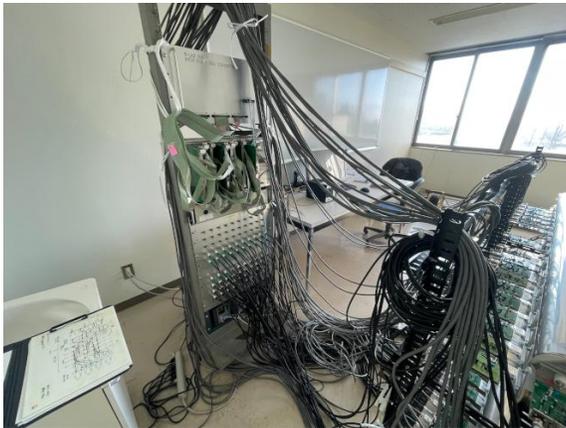
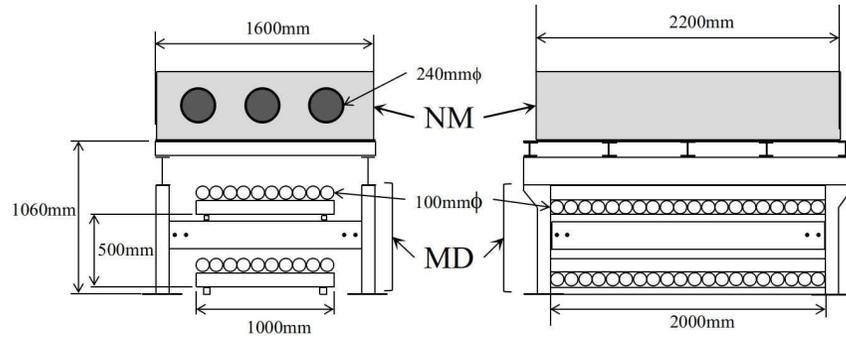
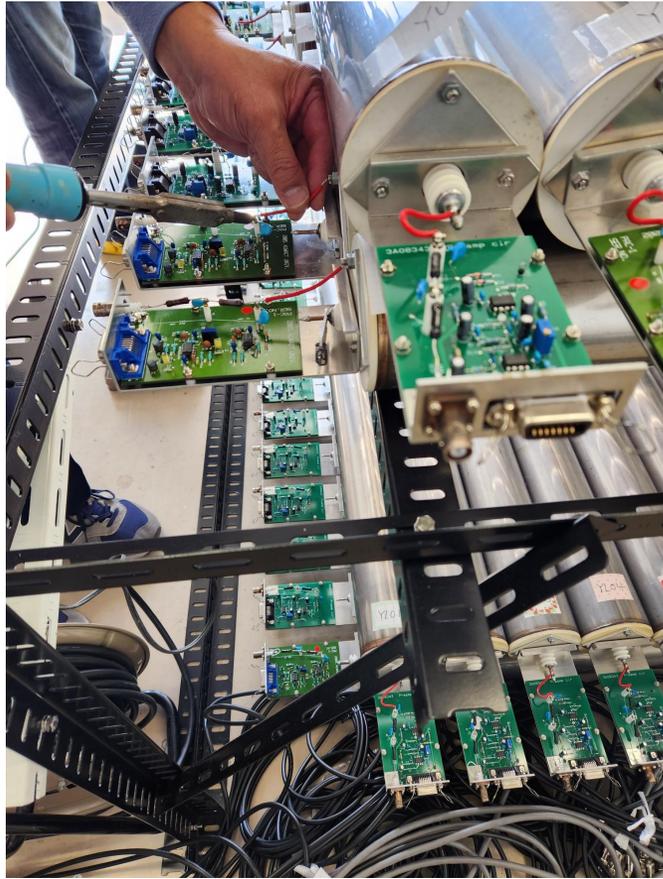
Syowa MD and NM

- **Observations have been stably maintained.**
- **Data of Syowa NM&MD are available to see at <http://polaris.nipr.ac.jp/~cosmicrays/>**

stable observation(2018.2 - 2023.12)



**Duty cycle MD 97 %
NM 92 %**



SyowaMD
2024年(JARE66)で拡張・フル
スケールでの運用開始予定
信州大学で組み付け試験中



まとめ

- 観測自体は新PCをでも問題なく行える
- 遠隔リレースイッチを交換
- 10月に観測停止状態になり遠隔操作により観測再開
- 南極昭和基地での宇宙線連続観測は問題なく継続中
- 2024年度にMDを増設しフルスケール運用の予定

本共同研究へのご支援に感謝します。